

有限会社坂田彫刻工業所

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間：2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日)



作成日：2024 年 12 月 28 日

改訂日：2024 年 月 日

目 次

項 目	ペー ジ
1. 組織の概要	1
2. 環境経営方針	2
3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
4. 環境経営目標及びその実績 4-1. 環境経営目標	4
4. 環境経営目標及びその実績 4-2. 運用結果(2023年10月～2024年9月)	5
5. 環境経営計画及びその評価・次年度の計画	6
6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	7
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	7
8. これまでの環境活動の紹介	8



ネームプレート（プラスチック）



ネームプレート（金属）

1. 組織の概要

(1)事業所名及び代表者氏名

有限会社坂田彫刻工業所
代表取締役 坂田 善則

(2)所在地

本 社：神奈川県川崎市幸区塚越 1-60-115

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：坂田 善則 TEL：044-555-1815 FAX：044-544-2229
Eメール：sakacho@sakacho.jp

環境管理担当者：内田 陽一郎 TEL：044-555-1815 FAX：044-544-2229
Eメール：sakacho@sakacho.jp

(4)事業活動の内容

ネームプレートの製造・販売 レーザー・機械彫刻受託加工 UV プリンター印刷受託加工

(5)事業の規模

資本金 500 万円

	本社			
従業員数	7 名			
延床面積	247.30 m ²			

□ EA21 対象範囲

- 登録組織名：有限会社坂田彫刻工業所
- 対象事業所：本 社：神奈川県川崎市幸区塚越 1-60-115

2. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

〈環境経営理念〉

有限会社坂田彫刻工業所は、エネルギーインフラ設備との仕事に多く従事しており環境問題に接していることとなります。

そのことを全社員で認識して環境保全を推進し、CO2 削減、廃棄物の削減、省エネ・省資源運動に取り組み、継続的な環境マネジメントの体制を構築していきます。

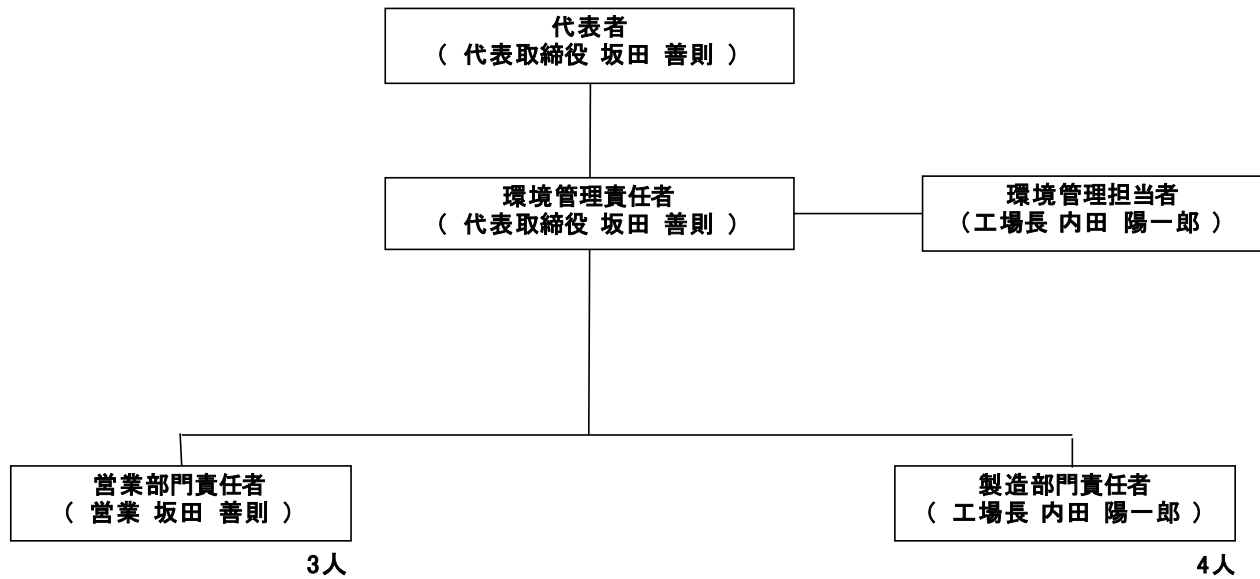
そして、次世代にさらに良い環境を引き継いでいくよう努力を致します。

〈基本方針〉

1. 二酸化炭素排出量の削減に取り組み、地球温暖化防止に努めます。
2. 廃棄物の発生量の低減のため、省資源で仕事を進めるように改善します。
3. 水使用量の低減のため、節水に努めます。
4. 原材料等は、環境に配慮した製品を使用します。
5. 化学物質の適正管理に努めます。
6. 環境に関連する法規制・条例等を遵守します。
7. この方針を当社で働く全ての従業員に周知します。

制定日 2018 年 8 月 1 日
有限会社坂田彫刻工業所
代表取締役 坂田 善則

3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



対象者	役割、責任及び権限
代表者	1. 取り組みの対象組織・活動の明確化 (要求事項1) 2. 代表者による経営における課題とチャンスとの明確化 (要求事項2) 3. 環境経営方針の策定、全従業員に周知 (要求事項3) 4. 実施体制の構築 (要求事項7) 5. 代表者による全体の評価と見直し (要求事項14) 6. 環境経営レポートの承認 7. その他
環境管理責任者 (環境管理担当者)	1. 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価 (要求事項4: 環境管理担当者) 2. 環境関連法規の取りまとめ (要求事項5: 環境管理担当者) 3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定 (要求事項6) 4. 環境コミュニケーションの実施 (要求事項9) 5. 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防 (要求事項13) 6. 文書類の作成・管理 (要求事項12: 環境管理担当者) 7. 環境経営レポートの作成・公表 (環境管理担当者)、確認 (環責) 8. その他
部門責任者	1. 教育・訓練の実施 (要求事項8) 2. 実施及び運用 (要求事項10) 3. 環境上の緊急事態への準備及び対応 (要求事項11) 4. その他
全従業員	1. 環境経営方針の理解及び環境問題の現状と環境への取組の重要性の認識 2. 環境経営目標、環境経営計画などに基づくEA21活動の実施 3. EA21活動に関する提案

4. 環境経営目標及びその実績

4-1. 環境経営目標

No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2 換算係数	年 度 目 標		
			(基準年度:2017年度)		2023 年度	2024 年度	2025 年度
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 7 %削減	基準値に対し 8 %削減	基準値に対し 9 %削減
			11,481 kWh/年	0.474 (東電)	10,677 kWh/年以下	10,563 kWh/年以下	10,448 kWh/年以下
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン		基準値に対し 7 %削減	基準値に対し 8 %削減	基準値に対し 9 %削減
			1,105 〈L/年〉	2.322	1,027 L/年以下	1,016 L/年以下	1,005 L/年以下
		CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂)	8,007 kg-CO ₂ /年		7,446 kg-CO ₂ /年以下	7,366 kg-CO ₂ /年以下	7,286 kg-CO ₂ /年以下
		CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /千円)	- 1.132 kg-CO ₂ /万円		基準値に対し 7 %削減 1.053 kg-CO ₂ /万円以下	基準値に対し 8 %削減 1.041 kg-CO ₂ /万円以下	基準値に対し 9 %削減 1.030 kg-CO ₂ /万円以下
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 7 %削減	基準値に対し 8 %削減	基準値に対し 9 %削減
			459 kg/年		427 kg/年以下	422 kg/年以下	418 kg/年以下
		2) 産業廃棄物排出量の維持管理	産業廃棄物排出量		基準値に対し 6 %削減	基準値に対し 7 %削減	基準値に対し 8 %削減
			700 kg/年	(※1)	658 kg/年以上	651 kg/年以上	644 kg/年以上
3	水使用量の削減	水道使用量	水道使用量		基準値に対し 6 %削減	基準値に対し 7 %削減	基準値に対し 8 %削減
			88 m ³ /年		82.7 m ³ /年以下	81.8 m ³ /年以下	81.0 m ³ /年以下
4	化学物質の適正管理 〈参考〉	化学物質使用量	化学物質使用量		—	—	—
			32 kg/年				
5	製品の環境性能の向上及びサービスの改善	1) 環境に配慮した材料の使用	RoHS指令対応材率		基準値に対し 7 %向上	基準値に対し 8 %向上	基準値に対し 9 %向上
			90 %		96.3 %以上	97.2 %以上	98.1 %以上

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWhを適用した。

※2017年度表記は2017/10月～2018/9月の会計年度と同一期間を適用した。

(※1)「産業廃棄物排出量の削減」の基準年度は2019年度です。

4-2. 運用結果（2023年10月～2024年9月）

No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2 換算係数	運用期間（2023年10月～2024年9月）		
			（基準年度:2017年度）		目 標	実 績	評 価
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 7 %削減		
			11,481 kWh/年	0.474 (東電)	10,677 kWh/年以下	10,454 kWh/年	○ 2.1%削減
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン		基準値に対し 7 %削減		
			1105 〈L/年〉	2.322	1,028 L/年以下	508 L/年	○ 50.5%削減
		CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂)	8,007 kg-CO ₂ /年		7,447 kg-CO ₂ /年以下	6,135 kg-CO ₂ /年	○ 17.6%削減
		CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /万円)	- 1.132 kg-CO ₂ /万円		基準値に対し 7 %削減 1.053 kg-CO ₂ /万円以下	0.873 kg-CO ₂ /万円	○ 17.1%削減
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 7 %削減		
			459 kg/年		427 kg/年以下	232 kg/年	○ 45.7%削減
		2) 産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量		基準値に対し 6 %削減		
			700 kg/年	(※1)	658 kg/年以上	400 kg/年	○ 39.0%削減
3	水使用量の削減		水道使用量		基準値に対し 6 %削減		
			88 m ³ /年		82.7 m ³ /年以下	85.0 m ³ /年	× 2.7%増加
4	化学物質の適正管理 〈参考〉		化学物質使用量				
			32 kg/年		適正管理 数量管理	kg/年	—
5	製品の環境性能の向上 及びサービスの改善	1) 環境に配慮した材料の使用	RoHs指令対応材率		基準値に対し 7 %向上		
			90 %		96.3 %以上	96.4 %	○ 0.1%達成

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWhを適用した。

※評価基準 ○: 目標達成、△: 目標未達成但し基準年度より改善、×: 目標未達成

(※1)「産業廃棄物排出量の削減」の基準年度は2019年度です。

5. 環境経営計画及びその評価・次年度の計画

No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段		取 組	
					結果・評価	次年度の内容
1		1) 電力使用量の削減	生産設備の適正管理		売り上げが増えたため電力使用量が増えてきたが、物価高で一層の節電を呼びかけている。	継続して行う
			空調温度の適正化（冷房25℃（猛暑時はそれ以下）暖房は25℃程度）			
			昼休み時、照明消灯			
			パソコン、OA機器を省電力設定にする			
			空調機のフィルターの定期的な清掃・点検をする			
			照明器具は定期的な清掃・交換を行う			
			節電・消し忘れ防止ステッカーの貼り付け			
		ポットの電源を終業時切る				
2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン	急加速・急停車の防止		目標達成できた。コロナの影響がなくなったが、外回りの営業自体が減ったためだと思う。特に長距離の営業が減ったためだと思う。	継続して行う	
		車両以外の交通手段を併用				
		中期計画				
		燃費のよい車の購入				
CO ₂ 総量計（kg-CO ₂ ）		6,135		コロナの影響はなくなり、使用量が増えてきたが、国際情勢で物価高になり一層の節電を呼びかけている。	継続して行う	
CO ₂ 原単位（kg-CO ₂ /万円）		0.873				
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	分別管理の周知徹底		目標が達成できた。ゴミも減らすようになった。	継続して行う
			ミスコピーの削減			
			ミスコピーの裏紙使用			
			電子メディアによるペーパーレス化			
		2) 産業廃棄物排出量の削減	カレンダー等裏紙の使用			
			分別管理の周知徹底		目標達成できた。	継続して行う
作業ミスの削減						
3	水使用量の削減	節水の意識を高め、徹底		夏季の猛暑で、水の使用量があがった。累積も達成できなかった。	節水を呼びかける	
		節水シールの貼り付け				
4	化学物質の適正管理	適正管理の徹底		購入管理は徹底している。数量管理を実施している。	継続して行う	
		数量管理の実施				
5	製品の環境性能の向上及びサービスの改善	1) 環境に配慮した材料の使用	用途による材料使用の適正化		目標が達成できた。	継続して行う
			RoHs対応材料の推進			
			外注からの購入品のRoHs対応調査の実施			

6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

区分	環境関連法規等名称	遵守状況 確認・評価
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)(一般廃棄物の処理) (令和1年6月14日改正)	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)(産業廃棄物の適正処理) (令和1年6月14日改正)	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) (平成29年6月16日改正)	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法) (令和5年 6月16日改正)	○
化学物質	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PR TR法) (平成14年12月13日改正)	○
化学物質	RoHS II 指令(EU) (令和元年7月22日改正)	○
大気汚染	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法) (令和1年6月14日改正)	○

当社に係る環境関連法規などは上記の通りですが、遵守状況を2024年4月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

【環境経営方針】	変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無
7年目だがまだ成績は良い方なので、このまま続ける。	
【環境経営目標及び環境経営計画】	変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無
目標の未達はあるものの、このまま続ける。	
【実施体制】	変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無
現在の体制を維持する。	
【環境経営システム等】	変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無
7年目だがまだ成績は良い方なので、このまま続ける。	
【総括】 (環境経営レポートに転記)	
今年もメインの二酸化炭素の排出量の削減目標が達成できたのですごい成果だと感じている。全従業員が引き続き省エネの徹底をしてくれているからだと思う。なぜならば、物価高の方が影響があったと思う。みんながかなり節約してくれた。しかし、水使用量が再度未達になってしまった。猛暑の影響だと思う。外注の購入品のRoHs調査は再開したが、目標が達成できた。	

これまでの環境活動の紹介

一般教育 2024.09.03



火災対応訓練 2024.09.03



業務用エアコン点検・清掃 2023.12.27



業務用エアコン点検・清掃 2024.06.28

